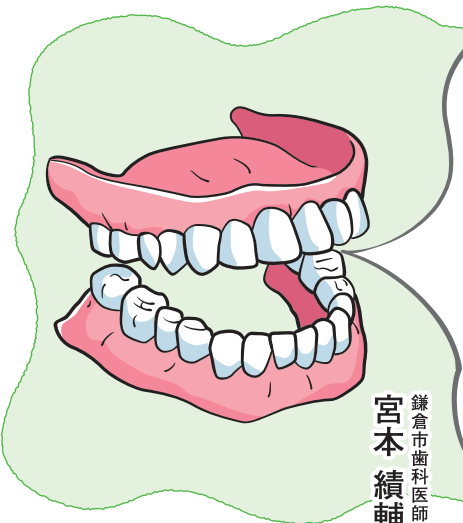


ごくとばと いればと



鎌倉市歯科医師会
宮本 績輔

失した歯の代わりになる部分から成り立つため、その両方が機能時の口腔内の諸組織、特に舌の形態と容積に対して調和がとれていないと話しづらくなります。義歯床による発音障害としては、上顎の口蓋を覆うような大きな入れ歯を入れたときに生じやすく、なかでも「タ音」「カ音」「ハ音」といった音が出しづらくなります。舌と入れ歯の接触状態や義歯床後縁の位置などが重要となってくるため、装着前の最終試適の際、十分に確認する必要があります。

お口の中と調和のとれていないかぶせ物の治療

歯列や周囲の歯肉・舌・頬などの組織と調和がとれていない形態のかぶせ物が入っていると、舌が不用意にあたり、あるいは隙間の部分に舌が常に触る状態になり、はつきり話しづらくなります。

言葉の問題に関する症状は、その原因を突き止めることが改善への足掛かりとなります。お口の中の環境を整えるのもその助と考えておりますので、お気軽にかかりつけの先生にご相談ください。

(宮本歯科医院)

- 毎日の生活に、言葉は大切な役割を担っています。いろいろなコミュニケーションツールが出てきた現代であっても、やはり話すということは社会生活では欠かせない行為です。そんな中、言葉に関する困った症状が突然生じることがあります。例えば、
- 自分ではつきりと話せていないと感じる
- 他人に聞き返される言葉が出るようになる
- 舌がもつれることがある
- 声を出すのが苦しかったり、声が震えることがある

などがあげられます。

このような症状が現れた時の対処法としては、まずは内科や耳鼻咽喉科を受診され、脳血管障害の疑いや声帯を含む喉頭周囲の診査、肺を含む呼吸器系の診査などをしていただくことをお勧めします。では歯科としてはどのようなことができるのでしょうか。

入れ歯の調整

発音に特に大きな影響を及ぼすのが入れ歯です。入れ歯は、義歯床と呼ばれる粘膜の上に乗った土台となる部分と人工歯と呼ばれる喪

失した歯の代わりになる部分から成り立つため、その両方が機能時の口腔内の諸組織、特に舌の形態と容積に対して調和がとれていないと話しづらくなります。義歯床による発音障害としては、上顎の口蓋を覆うような大きな入れ歯を入れたときに生じやすく、なかでも「タ音」「カ音」「ハ音」といった音が出しづらくなります。舌と入れ歯の接触状態や義歯床後縁の位置などが重要となってくるため、装着前の最終試適の際、十分に確認する必要があります。

むし歯の治療

大きなむし歯ができたり歯が欠けたりすると、そこから空気が漏れます。すると「すずめ」「スウ」「ズウ」や無声音の「ブウ・トゥ・クウ、有声音の「ブウ・ドゥ・グウ

